

まちづくり交付金 事後評価シート

鷺山地区

平成22年3月

岐阜県岐阜市

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市	地区名	鷺山地区			面積	330 ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	2,946.7 百万円	国費率	0.405		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 〔道路〕：太平町・下西郷線(鷺山工区)、運動場茂茂線(鷺山工区)、正木北部16号線(鷺山工区) 〔公園〕：鷺山地区 〔土地区画整理事業(都市再生)〕：正木、鷺山・下土居、正木西部、則武新田、鷺山第二地区										
	提案事業	〔地域創造支援事業〕則武タ号線(鷺山工区) 〔まちづくり活動推進事業〕市民活動支援事業(鷺山地区)											
		事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
	提案事業	〔地域創造支援事業〕親水広場整備事業(正木川) 〔事業活用調査〕事業分析調査(鷺山地区)				・地元自治会との協議が整い親水広場計画が策定できたため追加 ・事業効果分析のため追加				影響なし			
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	平成 年度～平成 年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	狭隘道路解消区域率	%	37	H15	88	H21	87.4	96	○	あり	土地区画整理事業の施行により、狭隘道路の解消が予定以上に進み、安全、安心なまちとなっている。また、関連の幹線道路整備は土地区画整理事業の進捗に密接に寄与しているため間接的な効果があった。	H22年7月
	指標2	公園の徒歩圏域外解消率	%	47	H15	68	H21	65	73	○	あり	公園8施設の整備により地域の約73%が公園の徒歩圏に含まれることとなり、伊自良川や鷺山とのエコネットワークが形成され、住環境が向上した。	H22年7月
	指標3	地区内の居住人口	人	13,600	H15	13,600	H21	13,443	13,950	○	あり	道路、公園、河川等の基盤整備による土地利用増進によって、住環境の向上・コミュニティ活動が活発化したため、暮らしやすい魅力のあるまちとなり、減少していた居住人口が再び回復した。	H22年7月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	鷺山夏祭り大会における地域住民の露店及びフリーマーケットの出店数	店舗	0	H17			-	49	○		鷺山まちづくり協議会の活動効果により夏祭りなどのコミュニティ活動が持続的に実施されるようになり、既存のコミュニティと区画整理による新しいまちのコミュニティ形成の融合が促進された。	-
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	○ 鷺山まちづくり協議会による住民主体のまちづくり活動によって、防犯見回り活動の動きがあるなど地域住民の安全・安心に対する意欲が向上した。 ○ 正木川や公園の整備計画では、地元住民の意見が反映され、維持管理の清掃活動などが地元自治会で進められている。 ○ 面整備事業に併せて街路整備が進むことによって幹線道路が断片化することなく連続的に整備が行われた。 ○ 公園、街路整備により、伊自良川や鷺山が公園や街路樹などによって連係が進められエコネットワークが形成された。 ○ 従来の土地区画整理事業では地域コミュニティが既存のコミュニティと分離しがちであるが、地域ポータルサイトの情報提供や夏祭りなどによって地域コミュニティの融合が図られた。 ○ 地区のシンボルとして親しまれた鷺山とその周辺が風致地区に指定され、良好な自然的景観及び都市環境の保全が図られたことによりエコネットワークがより確立したものになった。 ○ 生活関連施設となる店舗(ケーキ屋、花屋など)等が立地し、居住・生活環境の充実が図られ、生活の利便性(暮らしやすい魅力)が向上した。 ○ 街路整備により、自動車交通の円滑化(渋滞解消等)や車両と歩行者の交錯が少なくなったことにより、安全性が向上した。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	平成19年度岐阜市まちづくり交付金事業モニタリング事業進捗状況、成果の評価、効果発現要因分析				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				次期事業や他の予定地区において中間時点でモニタリングを実施する。			
	住民参加プロセス	○ コミュニティ誌の発行(鷺山まちづくり協議会) ○ 地域ポータルサイトの構築(鷺山まちづくり協議会) ○ 住民主体のまちづくり(地域情報の発信、防災活動) ■ 住民参加による正木川整備計画の検討(正木川コミュニティ協議会) (○：計画書に記載した事項、■：記載していない事項)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ 鷺山まちづくり協議会を岐阜市地域力創生事業補助金交付要綱等に基づき支援する。 ■ 平成19年度正木川親水広場計画決定により、活動完了。			
	持続的なまちづくり体制の構築	・ 市民活動支援事業により鷺山まちづくり協議会への支援 コミュニティ誌全戸配布(2回/年)、地域ポータルサイト構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				鷺山まちづくり協議会を岐阜市地域力創生事業補助金交付要綱等に基づき支援する。			

様式2-2 地区の概要

鷺山地区(岐阜県岐阜市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・「安全、安心なまちづくり」を推進するため、土地区画整理事業による面的整備により生活道路・公園等の整備を促進しつつ、良好で快適な住宅地の形成を図ります。 ・面整備事業に併せて、街路整備を進めるとともに、住区基幹公園整備事業により伊自良川や鷺山との連係を進め、「エコネットワーク」の形成を目指します。	狭隘道路解消区域率	単位: %	37	H15	88	H21	96	H21
	公園の徒歩圏域外解消率	単位: %	47	H15	68	H21	73	H21
	地区内の居住人口	単位: 人	13,600	H15	13,600	H21	13,950	H21



まちの課題の変化	○幹線道路の整備とともに狭隘道路が解消され、商業施設などへの集散交通が秩序だてられてきた。 ○公園の整備により、「鷺山」、「伊自良川」、「鳥羽川」等の良好な潤い空間とのネットワークが、ほぼ出来つつある。 ○幹線道路、区画整理、公園、河川の都市基盤整備を総合的に実施したことにより土地利用が増進され、住環境が向上したため、居住人口が減少から増加に転じた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	○事業中の土地区画整理事業(3地区)について引き続き公共施設整備を行い、事業の継続を推進する。 ○土地区画整理事業で新たに整備される公園用地について、公園整備事業(9公園)を継続して推進する。また、整備済み公園を適切に維持管理する。 ○農地をエコネットワークの一部として位置づけ、食糧自給や環境面から、保全と活用のあり方を検討する。 ○主たる基盤整備がほぼ整ったため、今後は鷺山まちづくり協議会や関連自治会によるコミュニティ活動を継続する。 ○まちづくり活動の支援としてまちづくり協議会の活動支援を行う。 ○住民主体で歴史資源の活用方策について検討し、次のまちづくりへ繋げる。 ○土地区画整理事業区域外の道路部分は、公共施設整備のあり方として検討する。

補足資料

1. 実施した事業
- 2-1. 数値指標による目標の達成度
- 2-2. 数値指標以外に現れた定性的な効果
3. 事業に関連した住民活動について
4. 今後のまちづくりの方策について
5. 事後評価委員会で頂いた意見について
6. フォローアップについて

1. 実施した事業(基幹事業と提案事業)

まちづくり交付金を活用し、以下の基幹事業(道路・公園・区画整理などの事業)と提案事業(市町村の提案に基づく事業)を実施しました。

種別	事業		事業名・箇所名	交付対象 事業費 (百万円)	事業担当課
		細項目			
基幹事業	道路	街路	太平町下西郷線	23	道路建設課
			運動場加茂線	438	道路建設課
		地方道	正木北部16号線	15	道路建設課
	公園		鷺山地区(8公園)	286	公園整備課
	土地区画整理事業		正木土地区画整理事業	20	区画整理課
			鷺山・下土居土地区画整理事業	579	区画整理課
			正木西部土地区画整理事業	168	区画整理課
			則武新田土地区画整理事業	1,168	区画整理課
			鷺山第二土地区画整理事業	204	区画整理課
	小 計			2,900	
提案事業	地域創造支援事業	則武夕号線	鷺山工区	21	道路建設課
		親水広場整備事業	正木川	23	河川課
	事業活用調査	事業分析調査	鷺山地区	2	区画整理課
	まちづくり活動推進事業	市民活動支援事業	鷺山地区	1	市民協働推進課
	小 計			47	
総事業費				2,947	
交付限度の額（割合 約40%）				1,192	

その他関連事業(2事業、5箇所)

主な事業(基幹事業)

道路事業: 街路(太平町下西郷線、運動場加茂線)、地方道(正木北部16号線)

土地区画整理事業地区へのアクセスに必要な幹線道路を整備しました。

太平町下西郷線



運動場加茂線



正木北部16号線



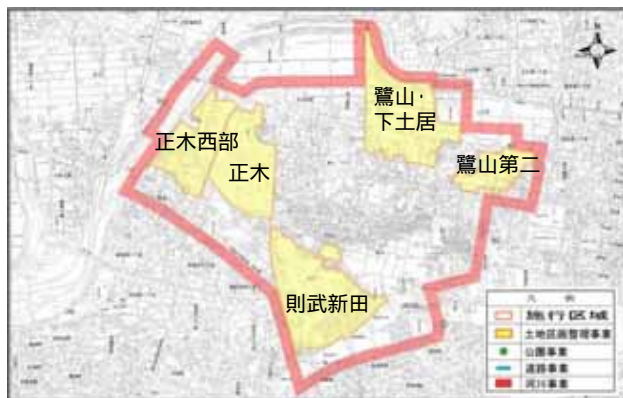
公園事業: 鷺山地区(8ヶ所)

土地区画整理事業のまちづくりに地域の個性を取り入れるため鷺山を中心として公園を整備しました。



土地区画整理事業: 正木、鷺山・下土居、正木西部、則武新田、鷺山第二土地区画整理事業

土地区画整理事業によって、土地の区画形質を整えたり、幅員の狭い道路の解消や新たな道路、公園その他の公共施設の整備改善を行い、居住環境の向上を図りました。



4m未満の幅員が狭い道路の改善を行いました。

主な事業(提案事業)

地域創造支援事業:親水広場整備事業

正木川の改修事業にあわせて、水と緑に包まれた憩いの空間として、正木川に親水広場を創出しました。



完成写真

まちづくり活動推進事業:市民活動支援事業

地域のまちづくり意識の高い人などで組織化された鷺山まちづくり協議会の活動を支援しました。



鷺山夏祭り大会の開催



コミュニティ誌の発行



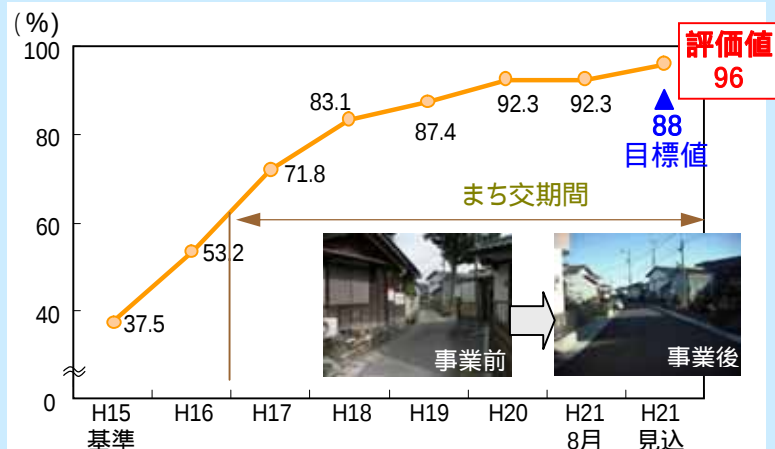
ポータルサイトの構築

2 - 1. 数値指標による目標の達成度

事業を行うことで以下の効果がありました。

指標1 狭隘道路解消区域率

土地区画整理事業で整備する道路総延長に対する整備済み道路延長

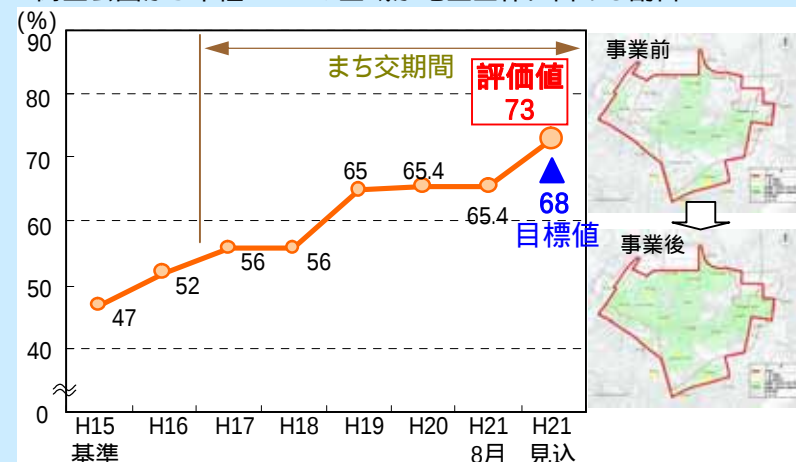


順調に整備が進み、区画整理事業区域内の狭あい道路(幅4m未満の道路)の大半が整備完了

達成度。

指標2 公園の徒歩圏域

街区公園から半径250mの区域が地区全体に占める割合

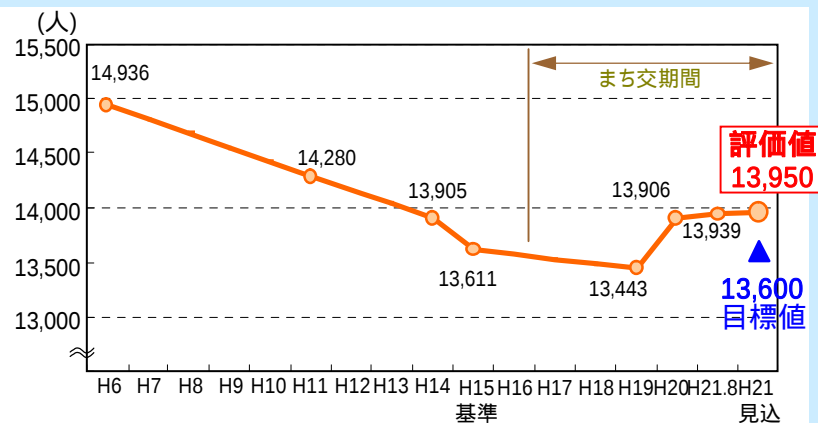


公園への徒歩圏域が順調に拡大

達成度。

指標3 地区内の居住人口

住民基本台帳に記載されている地区内人口数

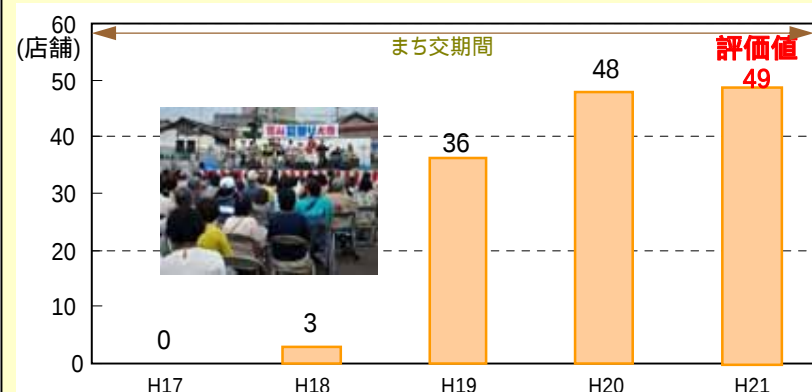


区画整理事業区域内の工事の進捗とあわせ人口が回復

達成度。

その他の指標 鷺山夏祭り大会における地域住民の露店及びフリーマーケットの出店数

鷺山夏祭り実行委員会へ地域住民が出店を申込み、実際に出店した店舗数



コミュニティが再生・活性化し、在来住民と新規住民の融合にも成功

達成度。

2-2. 数値指標以外に現れた定性的な効果

数値指標の結果(定量的な効果)以外に、以下に挙げた「定性的な効果」がありました。

- 鷺山まちづくり協議会による住民主体のまちづくり活動によって、防犯見回り活動の動きがあるなど地域住民の安全・安心に対する意欲が向上しました。
- 正木川や公園の整備計画では、地元住民の意見が反映され、維持管理の清掃活動などが地元自治会で進められています。
- 通常の幹線道路工事と区画整理事業を並行して進めたため、幹線道路が途切れず連続的に整備されました。
- 公園、街路整備により、伊自良川や鷺山を中心とした連続性が高まり、緑・自然のネットワークが形成されました。特に、地区のシンボルとして親しまれる鷺山とその周辺は風致地区に指定され、良好な自然的景観及び都市環境の保全が一層図られることとなりました。
- 一般的に土地区画整理事業では新住民と既存のコミュニティと分離しがちですが、地域ポータルサイトの情報提供や夏祭りなどによって両者の融合が図られました。(次ページ参照)
- 生活関連施設となる店舗(ケーキ屋、花屋など)等が立地し、居住・生活環境の充実が図られ、生活の利便性(暮らしやすさ)が向上しました。
- 街路整備により、自動車交通が円滑化(渋滞解消等)され、車両と歩行者の交錯も少なくなったことにより、安全性が向上しました。

3. 事業に関連した住民活動について

鷺山まちづくり協議会

市民活動支援事業により活動を支援しました。支援期間満了後も多くの活動を展開しています。

〔活動例〕



コミュニティ誌の発行(年4回)



ポータルサイトの構築



鷺山夏祭り大会



防災マップ発行

正木川コミュニティ協議会

正木川の川づくりについて地域住民と意見交換等を行い、計画案に意見を反映しました。正木川親水広場計画決定に伴い活動完了。

(実施時期:平成16～17年度、回数:計5回)



親水広場イメージ図

4. 今後のまちづくりの方策について

都市再生整備計画に掲げた目標の達成状況から、今後のまちづくりの方策について検討しました。

都市再生整備計画の課題	達成状況		継続・改善の基本方針	想定される事業
幹線道路整備の促進による沿道型、郊外型の大規模商業施設の立地が進行する一方、これら施設に集散する自動車幹線道路背後地の狭隘道路等に溢れ出し、地区内交通が混乱するとともに交通事故の増大が危惧されます。	達成されたこと	○ 幹線道路の整備とともに狭隘道路が解消され、商業施設などへの集散交通が秩序だてられてきた。	○ 商業施設などへの集散交通秩序化 事業中の土地区画整理事業（3地区）について引き続き公共施設整備を行い、事業の継続を推進する。	鷺山・下土居土地区画整理事業（H9～H25） 正木西部土地区画整理事業（H10～H24） 則武新田土地区画整理事業（H11～H23）
	残された未解決の課題	-	-	-
地区内外に「鷺山」、「伊自良川」、「鳥羽川」等の良好な潤い空間が広がっている地域の特性が有機的に連携されていない状況にあります。	達成されたこと	○ 公園の整備により、「鷺山」、「伊自良川」、「鳥羽川」等の良好な潤い空間とのネットワークが、ほぼ出来つつある。	○ 公園整備によるエコネットワークの形成 整備済み公園を適切に維持管理する。 土地区画整理事業によって新たに確保される公園用地については公園整備事業（9公園）を推進する。	鷺山公園事業（H17～H25）
	残された未解決の課題	-	-	-
道路、公園等の公共施設が未整備であるにも関わらず、畑等の低未利用地が住宅用地などへ蚕食的に転換していますが、生活環境の改善が図られないため、人口の定着に繋がらない状況にあります。	達成されたこと	○ 幹線道路、区画整理、公園、河川の都市基盤整備を総合的に実施したことにより土地利用が増進され、住環境が向上したため、居住人口が減少から増加に転じた。	○ 住環境の向上による人口定着 主たる基盤整備がほぼ整ったため、今後は鷺山まちづくり協議会や関連自治会によるコミュニティ活動を継続する。 まちづくり活動の支援として、行政はまちづくり協議会の活動支援を行う。	岐阜市地域力創生事業
	残された未解決の課題	-	-	-

5. 事後評価委員会で頂いた意見について

平成21年11月13日に行われた「まちづくり交付金事業 事後評価委員会」において、委員の方々から以下の意見等を頂きました。

〔成果の評価〕

□当初設定指標について

- ・狭あい道路解消区域率は計画区域全体での割合を算定した方が他の指標と整合して分かりやすい。
- ・狭あい道路が解消されると交通事故が増えたり、近所コミュニティが疎遠になるという意見もある。
- ・公園の徒歩圏外域の解消率は、面積でなく人口カバー率のほうが適切であると思う。
→次期計画(H22～25)において、指標の算出手法についてよく検討したい。

□別の切り口の指標について

- ・生活の利便性の向上となった新規店舗出店数、新旧住民の融合に資する行事の数、渋滞解消、歩行者と自動車との交錯の減少などを指標にするとよりわかりやすいものとなる。
- ・バスの運転手に、バスの遅れについてアンケートをとれば、渋滞の頻度が把握できるのではないか。

□地区全体について

- ・本地区は区画整理が主幹事業であるが、まちづくり交付金事業で行う意義が通常の区画整理と異なることをわかるように評価すべきである。既存のコミュニティを維持しながら区画整理ができたことが本事業の意義である。
- ・ハード面では、幹線道路の整備が区画整理区域内外で連続して整備できた。ことも、まちづくり交付金を活用したことの効果の一つである。

〔今後のまちづくり方策について〕

- ・地区北側の幹線にロードサイドショップが増え、幹線に人が流れたことによって、南側の商店街は寂れてきている問題があると住民は認識している。今後のまちづくり方策で検討を。
- ・土地区画整理事業区域内外に跨る道路の規模の不整合箇所の解消が今後の課題である。
- ・埋蔵文化財調査で発掘された歴史資産の活用について、地域として今後取り組みたい。
- ・地域社会の問題を地域住民の意識において認識し、情報・意見交換を地道に行う必要がある。
- ・鷺山は調整区域も残っており、市街地内農地が多い。農地は、食糧自給や環境面から、保全と活用のあり方を検討してほしい。



6. フォローアップについて

この事後評価にて「見込み」とした指標は、翌年度以降に数値を計測して確定値とするようフォローアップします。

指 標	評価値	目標達成度	判 定	フォローアップ 予定時期
1. 狭隘道路解消区域率 (%)	96	○	見込み	H22年7月
2. 公園の徒歩圏域外解消率 (%)	73	○	見込み	H22年7月
3. 地区内の居住人口 (人)	13,950	○	見込み	H22年7月
その他1. 鷺山夏祭り大会における 地域住民の露店及びフリーマーケット の出店数(店舗)	49	-	確定	-